

# 大学模擬授業

～ 学問の意義を知り、進路を考える～

## 一日総合大学 実施講座一覧

講座① (9:00～10:30)			
No.	講座名	分野	担当者氏名
1	体の仕組みと薬の効く仕組み ～薬理学超入門～	薬学系	江藤 忠洋
2	睡眠の謎！ヒトはなぜ眠るのでしょうか？	看護学系	橋本 知子
3	看護学の裏のうら？まで教えます。看護師、保健師、助産師、看護教諭を目指しているあなた！ 進路指導の先生も必見！	看護学系	山邊 素子
4	リハビリテーション専門職の現在と未来	健康医療科学系	古川 勉寛
5	メディアリテラシー ～情報化社会とインターネット～	ICT系	中尾 剛
6	意識と無意識の心理学 ～「わかる」とはどういうことか？～	心理系	大原 貴弘
7	「英語とカタカナ語：発音の違い」	語学系	西村 康平
8	人生ゲームの社会学	社会学系	高木 竜輔
講座② (10:40～12:10)			
No.	講座名	分野	担当者氏名
1	アレルギーってなあに？	薬学系	村田 和子
2	エコマテリアル	材料工学系	坂本 直道
3	ICTを活用した遠隔看護の実際 ～その人の望みを可能な限り支えるために～	看護学系	スーディ 神崎 和代
4	高齢者の健康と保健活動（公衆衛生看護学）	看護学系	鈴木 直子
5	理学療法の実際（実技を含めて）	健康医療科学系	萩原 久佳
6	ロボット競技大会で学ぶ	機械・ICT系	高橋 義考
7	みんな違ってみんないい！ ～人の心のお話～	心理系	大島 典子
8	“ヒーロー” じゃないリーダーになろう！ ～アニメ、アイドル、歴史から学ぶ～	ビジネス系	大嶋 淳俊

十月三十一日（火）、本校一年生を対象にいわき明星大学において「一日総合大学」を通して、学問の意義を認識



「一日総合大学」で開講  
「いわき明星大学」

し、学びへの探究心を高めるとともに、大学生活の一端を体験することで大学進学へのさらなる意識高揚を図るため、一年生に対して毎年行われている。今年度もいわき明星大学にお願いし、それぞれ工夫を凝らした授業を分野・系統別に全16講座展開していただいた。生徒は、午前は大学の講義を各講座受講し、大学での専門的内容に触れ、午後は教養学部地域

教養学科の初見康行先生の職業観育成講話を聞き、働くことについて考えた。一年生は、今回の「一日総合大学」で得た、知的好奇心



心や大学進学への思いを忘れない、進路意識の高揚に努め、自らの夢を実現させるよう努力を続けて欲しい。

## 1 学年特別号

平成30年2月26日

編集発行

磐城桜が丘高等学校

進路指導部

印刷 (株)ネクスト情報はましん

## 筑波大学 出張講義 開講講座

	担当者氏名	学類	講座タイトル	講座内容
1	人文社会系准教授 吉野 修	比較文化	表現することと現実に関わることについて	文学や芸術などの高度な表現の世界が、挨拶のような日常的な表現行為と同じように現実世界と深く関係していることを具体的にみてゆく。さらに、表現行為によって被災地という現実と向き合うことが可能であるのかを、筑波大学コトノハチームの試みを具体的に紹介しながら考える。
2	国際総合学類准教授 松原 康介	国際総合	モロッコの歴史都市・フェスの空間構成を読み解く	北アフリカの国、モロッコには、多くの歴史都市が存在し、世界遺産に登録されています。この講義では、迷宮的とも言われる世界遺産都市フェスの複雑な空間構成を読み解くことを通じて、イスラム世界の人々の都市生活のあり方についての理解を深めます。
3	生命環境系准教授 吉田 滋樹	生物資源	美味しさを作り出す微生物のはたらき	本講義では「美味しさ」とはどのような要因によって決定されるかを解説した上で、発酵食品や旨味調味料などの美味しさを作り出す微生物の役割について具体的な事例を挙げながら解説いたします。
4	システム情報系准教授 澤 亮治	社会工学	恋の市場を設計する：ゲーム理論による経済学	「恋」のような通常お金では取引されないものを経済学の「ゲーム理論」という道具で分析してみましょう。講義で扱うゲーム理論は従来の市場の分析にとどまらず、様々な分野に応用されています。今回の内容はゲーム理論の応用の一つで、2007、2012年のノーベル経済学賞の研究と関連しています。
5	システム情報系教授 伊藤 誠	情報科学	自動車自動運転に見る情報処理技術の活用と課題	自動車の自動運転の技術開発においては、情報処理技術の活用は欠かせない。この講義では、情報処理技術がどう利用され、どのような課題があるのかを述べる。
6	シニアプロフェッサー 大嶋 建一	応用理工	元素の特徴と身近な製品との関連性について	私達の体、地球の大地、さらには宇宙の星では限られた元素で成り立っています。本講義では、それぞれの元素の特徴を述べた後に、元素と身近な製品との関連性について述べます。

十二月八日（金）、本校にて一年生を対象に「筑波大学出張講義」が行われた。この行事は、筑波大学による震災復興支援事業の一環として行われ、今年度七年目を迎える。今回も筑波大学の各学類より六名の先生方が来校し、興味深い講義を展開して下さった。一年生は、十月末に行われたいわき明星大学での「一日総合大学」に引き続き、大学模擬授業を受けた二度目の機会であった。今の高校生活での

学びは「勉強」であるが、大学での学びはまさに「研究」である。大学の講義を経験することで、研究や学問領域の奥深さを知り、自分が興味をもつ分野や進路について考える機会となったはずである。高校生活の「勉強」はこの「研究」をしていくための土台となる。今後は基礎を固めながら、大学での「研究」に堪えうる実力をつけることに努めて欲しい。



(生徒感想は四面)

## 筑波大学出張講義